

授業科目名	キャリアデザインI (基礎)	授業形態	講義
英語科目名	Career Design I	開講学期	前期
対象学年	1	単位数	2
科目責任者	平林 正樹	ナンバリング	5001
科目担当者			
平林正樹 (実務経験有り) 道谷里英 (実務経験有り) 四方昌利 (実務経験有り)			
授業の概要			
<p>「キャリアをデザインする」という基本的な考え方や基礎的な理論を学びます。</p> <p>多くの方が将来、組織人になっていきますから、組織とりわけ経営組織において自分のキャリアを意図的に設計し、そのための手段を考えていくことの大切さを学びます。</p> <p>ただ、学校教育や社会教育また家庭教育とも共通の「生涯にわたって学び直していくとともに、自分の人生を自分で決定し、行動を起こすことによって自分も変え、変え続けていく」という考え方から出発します。</p> <p>グローバル化などの変化の激しい現代の中で、社会が求める人材とは何か、それに応じて自分の目標を設計(デザイン)し、自律した個人として行動するための基礎的な考え方を理解したうえで、現代的・実務的なテーマまで進みます。</p> <p>ほぼ毎回、個人ワーク、グループ・ディスカッション、全体への発表などのアクティブ・ラーニングをおこなうことで、社会に出てからも不可欠なスキルを養成します。</p> <p>この科目はグローバル社会の中で教養人として生きていくための基礎の一つとなるものですので、卒業要件として一つは必ず選択せねばならないキャリア科目群の一つです。</p> <p>【関連するディプロマポリシー (DP)】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性(グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域)を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>			
授業の達成目標			
<p>1. 大学で学ぶ意義を知る</p> <p>2. 自分のキャリア(職歴を含む人生)を設計していく考え方を身につける</p> <p>3. 勇気をもって一歩踏み出す力を身につける</p> <p>これらを将来、職業についていく目標の形成にあわせて考え、行動ができるようになることです。</p> <p>とくに、社会のグローバル化などで環境変動が激しい現代のなかで組織もこれまで以上に変化への適応が求められる時代において、個人も自律的な学習を続けながら自分の生き方、働き方を考え続けるべきことを学び、自己理解を深めます。</p> <p>受講生はキャリアデザインの必要性を学ぶことで4年間の学習を計画的に行い、就職活動を準備する力をつけます。</p>			
成績評価方法			
<p>1. 成績評価方法</p> <p>①平常点 (50%)</p> <p>②期末試験 (50%)</p> <p>・ 授業内容に基づき、試験を行います。穴埋め問題と記述問題を出す予定で、問題の形式は授業中に指示します。</p> <p>2. 成績評価基準</p> <p>・ 期末試験：基本用語を修得し応用できるか (60%)、授業内容を理解し表現できるか (40%)</p>			
履修上の注意 (受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>授業の進行と学生の関心に応じて、以下の計画にかかわらず、柔軟に授業内容を変更します。</p> <p>最初の授業には必ず出て下さい。積極的な聴講を期待します。</p> <p>なお、私語は禁じます。わからないことがあれば私語をせず、途中でもしどし質問して下さい。</p>			
テキスト・参考書			
<p>・ テキストはありません。</p> <p>・ 毎回の資料はJPASSの「授業資料」に添付しますので、適宜参照してください。</p> <p>・ 参考文献は、随時紹介します。</p>			

オフィスアワー			
授業後の60分間。 可能であれば、数日前までにメールにて連絡し予約をしてください。			
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法			
JPASSを活用してフィードバックします。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指示）
1	平林 正樹	キャリアとは何か	【予習】「キャリア」の自分なりの定義と「キャリア」を使った単語とその意味を調べておく(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
2	平林 正樹	キャリアデザインとは何か	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
3	平林 正樹	「大学で学ぶ意義」を考える	【予習】配布資料に目を通しておくこと、大学に入学してきた目的を自らに問いなおしておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること、グループワークでの気づきをまとめておくこと(90分)
4	平林 正樹	内的キャリアとライフライン・チャート	【予習】配布資料に目を通しておき、ライフラインチャートのワークシートを印刷しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること、ペアワークでの気づきをまとめておくこと(90分)
5	四方 昌利	社会人1年目の現場から学ぶ ～旅行代理店～	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】本日のグループディスカッションからの学びと気づきをまとめておくこと(90分)
6	四方 昌利	中小企業で働くことのやりがい	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】本日のグループディスカッションからの学びと気づきをまとめておくこと(90分)
7	四方 昌利	グローバルビジョンを持つために	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】本日のグループディスカッションからの学びと気づきをまとめておくこと(90分)
8	四方 昌利	グローバルリーダーのキャリア事例に学ぶ	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
9	四方 昌利	計画された偶発性 —キャリアのデザインと変化	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分) 【復習】配布資料と講義内容の該当箇所を精査熟読すること(90分)
10	道谷 里英	自己理解の3ステップ① —気になる「問題」は何か	【予習】あなたが気になる社会で起きている「問題」（身近なことからグローバル視点まで何でも可）について5個以上書き出し、それらのうち最も気になることについて新聞やニュースなど情報を集めて授業に臨むこと（90分） 【復習】講義を通じて気づいた自己の側面についてまとめること(90分)
11	道谷 里英	自己理解の3ステップ② —あなたの「できる」は何か	【予習】自分の強みをキャリアポートフォリオ（2-10）を使ってまとめて授業に臨むこと（90分） 【復習】講義を通じて気づいた自己の側面についてまとめること(90分)
12	道谷 里英	自己理解の3ステップ③ —あなたが好きな「物語」は何か	【予習】事前配布されたワークシートを作成して授業に臨むこと（90分） 【復習】講義を通じて気づいた自己の側面についてまとめること(90分)
13	平林 正樹	「何のために働くのか」を考える	【予習】身近な社会人にインタビューをしたうえで、「人



授業科目名	キャリアデザインII (応用)		授業形態	講義
英語科目名	Career Design II		開講学期	前期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	道谷 里英		ナンバリング	5002
科目担当者				
道谷 里英 (実務経験有り)				
授業の概要				
<p>キャリアデザイン1の受講を前提にして、グローバル化する社会の中でのキャリアデザインの考え方を理解した者に、実際にキャリアデザインの技法を使いながら、自らのキャリアデザインを考えてもらい、大学生活における今後の生き方、とりわけカリキュラム受講設計や課外活動の方針などを立ててもらいます。また、実際の社会人を授業に招いたり、自分たちが関心のある商品やサービスについてディスカッションを行うことを通じて、現在の社会で求められる能力についての理解を深めていきます。将来、世界で活躍できる組織人として必須の様々な人々との協働能力をあわせて高めるために、孤立した作業とせず、協働的な学習方法を取り入れます。</p> <p>【関連するディプロマポリシー (DP)】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p>				
授業の達成目標				
<p>キャリアデザインの知識だけでなく、それを自ら実際に行動に移す訓練を行います。受講を通じて以下の力を発達させます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>働くことにまつわる基本的な知識(労働法、業界の分類、会社という組織など)を理解する。</li> <li>多様な場で働く社会人による講義を通じて、働く意味ややりがい、求められる能力を理解する。</li> <li>自分自身のキャリアデザインの力を点検し、これからの学生生活で身につける力や取り組むべき課題を把握する。</li> <li>これからの学生生活での目標を明確化し、行動計画を立てる。</li> <li>グループ活動を通じて、自己と他者の違いを生かしながら、協働で問題解決を図るために必要な力を理解する。</li> </ol>				
成績評価方法				
毎回の小レポート(50%)とレポート課題(50%)を総合して評価します。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>自分の意見をまとめ、それを表現し、討論に参加する積極的な姿勢を重視します。</p> <p>多忙な社会人を授業にお招きします。集中して話を聴き、積極的に質問を行ってください。</p>				
テキスト・参考書				
講演と討論を重視する演習形式を取り入れるため、あらかじめ指定しませんが、随時指定するテキストを参考にしてください。資料を配布することがあります。				
オフィスアワー				
r-michitani@juntendo.ac.jp 個別にメールでアポイントを取ってください。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
期限内に提出されたレポートについては、授業の最終回にフィードバックを実施する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	道谷 里英	<p>【オリエンテーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画の理解</li> <li>・産業構造の変化が仕事にもたらす変化</li> <li>・21世紀の働き方と求められるスキル</li> <li>・ソフトスキルのセルフアセスメント</li> </ul>	<p>【予習】90分 これまでの学生生活を振り返り、成長したと思えることと今後の課題と思えることをまとめてくること。</p> <p>【復習】90分 授業で紹介された文献やwebサイトを読み、これからの学生生活で身につけておく力と現状の自分の力のギャップを認識すること。</p>	
2	道谷 里英	<p>【社会と仕事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスを知るための視点を学ぶ</li> <li>・企業の採用基準について理解を深める</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul>	<p>【予習】90分 日頃の生活や学びを通じて関心をもった商品、サービスなどを調べ500字程度でまとめて持参すること。裏付けとなる新聞記事やwebサイトも明示すること。</p> <p>【復習】90分 授業を受けて得た知識をもとに、事前課題とした仕事研究をさらに深化させること。第12回で発表してもらいます。</p>	
3	道谷 里英	【仕事と自分】	【予習】90分	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業の三要素</li> <li>・経済的価値と精神的価値</li> <li>・あなたにとっての報酬の意味</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul>	<p>働く場を選ぶとき自分が何を重視しているか（重視したいか）を考えてくる。その際、世論調査などを参考にすること。参考文献情報は授業で教示する。</p> <p>【復習】90分 ディーセントワークを実現するために今後企業が取り組むべきことや、働く人たちが自身がなすべきことについて自身の考えをまとめること。</p>
4	道谷 里英	<p>【雇用されて働く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働法のおさらい</li> <li>・雇用契約とは何か</li> <li>・働き方改革が指すもの</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul>	<p>【予習】90分 「アルバイト社員は年次有給休暇を取得できるか。取得するためにはどうするか。」を調べ、自分の考えをまとめてくること。</p> <p>【復習】90分 自分が気になる企業や職業がどのような基準で報酬を決定しているか、また可能であれば平均年収を調べること。</p>
5	道谷 里英	<p>【社会人による講義①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や企業が求める人材についての理解を深める</li> </ul>	<p>【予習】90分 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。</p> <p>【復習】90分 ゲストの話聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。</p>
6	道谷 里英	<p>【ディスカッション】</p> <p>社会人による講義を受けて、提示されたテーマについてディスカッションを行い発表する。</p>	<p>【予習】90分 社会人から提示されたテーマに基づいて情報収集を行い、自分の考えをまとめてくること。</p> <p>【復習】90分 グループで得られた結論とその過程を振り返り、より良い結論を得るために自分がどのように貢献したかを振り返ること。</p>
7	道谷 里英	<p>【社会人による講義②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や企業が求める人材についての理解を深める</li> </ul>	<p>【予習】90分 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。</p> <p>【復習】90分 ゲストの話聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。</p>
8	道谷 里英	<p>【ディスカッション】</p> <p>社会人による講義を受けて、提示されたテーマについてディスカッションを行い発表する。</p>	<p>【予習】90分 社会人から提示されたテーマに基づいて情報収集を行い、自分の考えをまとめてくること。</p> <p>【復習】90分 グループで得られた結論とその過程を振り返り、より良い結論を得るために自分がどのように貢献したかを振り返ること。</p>
9	道谷 里英	<p>【社会人による講義③】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や企業が求める人材についての理解を深める</li> </ul>	<p>【予習】90分 社会人ゲストに関連する仕事の情報を事前に収集しておくこと。</p> <p>【復習】90分 ゲストの話聞いて学んだことや事前の情報収集との違いについてまとめること。</p>
10	道谷 里英	<p>【社会人へのインタビュー共有とディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な社会人のキャリアから学ぶ（情報収集結果の共有）</li> <li>個人別に発表し、質疑応答</li> </ul>	<p>【予習】90分 事前に社会人にアポイントをとり、インタビューを行い、その結果をまとめて持参すること。</p> <p>【復習】90分 他の受講生の発表を聞くことで得られた情報をもとに、さらに必要な情報を収集すること。</p>
11	道谷 里英	<p>【これからの学生生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先輩の学生生活～就活体験談</li> <li>・自分のキャリア資産を棚卸しする</li> </ul>	<p>【予習】90分 これからの学生生活の過ごし方について気になること、不安なことなどを整理し、先輩への質問を考えておくこと。</p> <p>【復習】90分 先輩の話聞いて学んだことやこれからのアクションについてまとめること。</p>
12	道谷 里英	<p>【仕事研究発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの関心とビジネス（業界、業種、職種、仕事等）について調査結果発表</li> </ul>	<p>【予習】90分 授業で調査結果を発表するための準備を行うこと。</p> <p>【復習】90分 仕事研究を通じて学んだことや、これからの就職活動で行う仕事研究の方法の改善点をまとめること。</p>



授業科目名	グローバルキャリアデザインI	授業形態	講義
英語科目名	Understanding Global Careers I	開講学期	前期
対象学年	3	単位数	2
科目責任者	平林 正樹	ナンバリング	5003
科目担当者			
平林正樹（実務経験有り）			
授業の概要			
<p>当科目は、以下のような3つの柱で構成されています。</p> <p>①企業や組織がどのようなものの考え方や経営理念、さらにはヒトという経営資源を企業がどのように育成し、魅力ある組織に変革しようとしているのかを知る。</p> <p>②実社会で活躍する現役のビジネス・パーソンをお迎えして、それぞれのゲスト講師が経験されてきた業界、仕事、そしてご自身のキャリアについての生の声をお話しいただく。</p> <p>③就業力の向上を目的とした職種別の動画を見つうえでグループディスカッションをおこなうことで、様々な価値観に触れ自らの行動計画を立てること。</p> <p>当科目の受講により、「環境適応業」としての企業が抱える課題やものの考え方を知るとともに、社会環境の変化に柔軟に対応しながら勇気をもって一歩踏み出すことができるようになることをめざします。</p> <p>近い将来に企業や諸団体への就職を目指す方はもちろん、公務員・教員を志望する方にとっても世の中を知る大きな機会となることでしょう。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようとして心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>			
授業の達成目標			
<p>1. 企業のものの見方、考え方を知る。</p> <p>2. ビジネス・パーソンとして社会に出るにあたって必要な心構えを身につける。</p> <p>3. 職業社会についての具体的な理解を深める。</p> <p>この授業をとおして、皆さん自身が自分のキャリアを自らの意志によってその一歩を踏み出せるようになることが目標です。</p>			
成績評価方法			
<p>1. 成績評価方法と評価基準</p> <p>①平常点（75%）：JPASSによる毎回のリアクション・ペーパーの提出。</p> <p>②期末レポート（25%）：形式（構成、文体、誤字脱字、提出物としての完成度など）と内容（網羅性、独自性、論理性、具体性など）を総合的に評価します。</p>			
履修上の注意（受講条件・受講に当たって学生に望むこと）			
<p>・毎回、リアクション・ペーパーをJPASSにて提出することを求めます。</p> <p>・後期に開講する「グローバルキャリアデザインII」とペアの科目です。連続して履修することで、理解がさらに深まります。</p>			
テキスト・参考書			
<p>テキストは特にありません。</p> <p>参考文献は、授業中に適宜紹介します。</p>			
オフィスアワー			
<p>水曜日の3時限目。</p> <p>希望者はメールで事前に連絡をしてください。</p>			
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法			
JPASSを活用してフィードバックします。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指示）





--	--	--	--

授業科目名	グローバルキャリアデザインII	授業形態	講義
英語科目名	Understanding Global Careers II	開講学期	前期
対象学年	3	単位数	2
科目責任者	平林 正樹	ナンバリング	5004
科目担当者			
平林正樹（実務経験有り）			
授業の概要			
<p>当科目は、以下の柱で構成されています。</p> <p>①企業や組織がどのようなものか、ヒトという経営資源を企業がどのように育成し、魅力ある組織に変革しようとしているのかを知る。</p> <p>②実社会で活躍する現役のビジネス・パーソンをお迎えして、それぞれのゲスト講師が経験されてきた業界、仕事、そしてご自身のキャリアについての生の声をお話しいただく。</p> <p>③企業を見分ける目を養う。</p> <p>当科目の受講により、「環境適応業」としての企業が抱える課題やものの考え方を知るとともに、社会環境の変化に柔軟に対応しながら勇気をもって一歩踏み出すことができるようになることをめざします。</p> <p>近い将来に企業や諸団体への就職を目指す方はもちろん、公務員・教員を志望する方にとっても世の中を知る大きな機会となることでしょう。</p> <p>【関連するディプロマポリシー（DP）】</p> <p>DP① グローバル化が進む国際社会における人間とその社会的、文化的な営みを包括的に理解するため、自然と人間、生命と健康、人間と社会、世界と日本など国際教養に関わる広範な知識を習得し、それらを統合し、活用する能力</p> <p>DP② 自分とは異なる人間や文化を理解しようと心を開き、多様性を尊重し、寛容さを持って相互交流を図ることのできる能力</p> <p>DP③ 母語そして外国語でのコミュニケーション能力を駆使し、多様な人々と繋がり、自らの考えを論理的に説明し、相互の関係を築く能力</p> <p>DP④ グローバル市民として活躍するための基盤となる国際的な教養に加え、文化を超えて活躍できる専門性（グローバル社会、異文化コミュニケーション、グローバルヘルスサービス領域）を備え、人類が直面する問題を発見し、解決策を探る多面的かつ柔軟な思考力と行動力</p>			
授業の達成目標			
<p>1. 企業のものの見方、考え方を知る。</p> <p>2. ビジネス・パーソンとして社会に出るにあたって必要な心構えを身につける。</p> <p>3. 職業社会についての具体的な理解を深める。</p> <p>この授業をとおして、皆さん自身が自分のキャリアを自らの意志によってその一歩を踏み出せるようになることが目標です。</p>			
成績評価方法			
<p>1. 成績評価方法と評価基準</p> <p>①平常点（70%）：JPASSによる毎回のリアクション・ペーパーの提出。</p> <p>②期末レポート（30%）：形式（構成、文体、誤字脱字、提出物としての完成度など）と内容（網羅性、独自性、論理性、具体性など）を総合的に評価します。</p>			
履修上の注意（受講条件・受講に当たって学生に望むこと）			
<p>・ 毎回、リアクション・ペーパーをJPASSにて提出することを求めます。</p> <p>・ 前期に開講する「グローバルキャリアデザイン I」をあらかじめ履修した後に当科目を連続して履修することで、理解がさらに深まります。</p>			
テキスト・参考書			
<p>テキストは特にありません。</p> <p>参考文献は、授業中に適宜紹介します。</p>			
オフィスアワー			
<p>水曜日の3時限目。</p> <p>希望者はメールで事前に連絡をしてください。</p>			
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法			
JPASSを活用してフィードバックします。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等（予習、復習レポート等課題の指示）
1	平林 正樹	オリエンテーション	【予習】配布資料に目を通しておくこと(90分)



--	--	--	--